文部科学省　大学間連携共同教育推進事業
「IT を活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成」
第 12 回　IT を活用した教育センター会議　議事録

【日　時】平成 25 年 10 月 21 日 （月）　9 時 30 分から

【場　所】以下の 5 拠点によるスカイプ会議:岩手医科大学:城教授室、北海道医療大学:越野教授室、昭和大学:1 号館 502 号室、金沢電子出版株式会社 株式会社ピコラボ

【出席者】城教授（岩手医科大学）、越野教授、豊下講師（北海道医療大学）、弘中教授、美島教授、片岡教授、乾事務員（昭和大学）、佐藤様（金沢電子出版株式会社）、鈴木様（株式会社ピコラボ））

―――――――――――――― 議 事 内 容 ――――――――――――――

1）昭和大学 9 月の授業実施結果

（1）アンケート結果　別添資料 1

別添資料 1 を基に説明があった。概ね良好な結果であったが、「e-learning の設問が回答しやすい」という項目について、否定的な回答が多かったという報告があった。

（2）e-learning 教材の正答率　別添資料 2

（3）改善策　　別添資料 3

自由記載の設問は、学生に考えさせるという意味で非常に良かった旨、全員が一致した。ただし、正答か誤答か判定できないと正答率（学生の習得率）も把握し難く、学生へのフィードバックができないため、以下の案が提案され了承された。

授業の前半では「箇条書きにしてください」あるいは「100 字以内で書いてください」のような設問として学生に自由に考えさせる。後半ではキーワードを穴埋めの形で問うようにして、正誤判定をし、重要なポイントを明確にするとともに授業時間内に確実に習得させるようにする。

この方針に沿って、WS で今年度使用した教材の改良を図ることで合意が得られた。

2）北海道医療大学 9 月の授業実施報告

9 月 27 日と 10 月 18 日に 4 学部で共有している PC 備え付けの実習室で授業が概ね順調に実施された旨、越野教授から説明があった。

3）第 3 回ＩＴを活用した教育センター　ワークショップについて

（1）スケジュール案（修正）について　別添資料 4

資料に基づき修正案の説明があり、了承された。

（2）講演会ならびに懇親会について

11 月 20 日(水)Prof. Glenn Clark （南カリフォルニア大学）講演

その後の懇親会は 18 時 30 分から開催され 8,000 円徴収する旨了承された。

4）教育プログラム検討委員会・到達度評価委員会のメンバーについて

別添資料 5 の通り了解された。

会議はスカイプ会議とし、WS とは別に開催することになった。

歯科医師会の先生方は診療の都合もあるため、なるべく早めに会議の日程を決めて欲

しい旨要望があった。会議に参加できない場合はあらかじめご意見を伺っておき、大学のメンバーが代わりに伝えることでも良いかという質問があり、了承された。

5）その他

（1）各 WG メンバーの出席予定の確認

3 大学で連携して事業を進めていくために、それぞれの WG で各校から最低 1 名は出席して欲しいとの要請があり、了承された。正規メンバーが公用で参加ができない場合は、代理を立てることになった。

（2）来年度シラバスへの授業を組み込む　（2 学年への段階的実施）

岩手医科大学：3 年生および 4 年生の授業枠の確保を検討中

北海道医療大学：3 年生および 5 年生の授業枠の確保を検討中

昭和大学：3 年生に対して 10 コマ、4 年生に対して 10 コマを確保する予定

（3）各 WG の今回の WS での検討事項案

i)　WG 1　口腔乾燥症

3 年生　e-learning の改良版の作成（分担を決定）

4 年生 VP の作成（基本的方針と分担の作成）

ii)　WG2　基礎疾患を有する患者の歯科診療

3 年生　学習への動機づけビデオの完成　関連する e-learning

4 年生　VP の検討

iii)　WG3　病院における急性期チーム医療

3 年生　e-learning の改良版の作成（分担を決定）

4 年生　VP 作成ができるかを検討

iv)　WG 4　地域における慢性期チーム医療

3 年生　e-learning の改良版の作成（分担を決定）

4 年生　VP 作成ができるかを検討

（4）ワークショップの出席者について

今回の参加者は基本的には教員とするが、今回の e-learning を主体とした授業を実施する際に支援してくれた北海道医療大の歳桃様、岩手医科大学の内金崎様に関しては、今後の授業の改善策を検討していただく意味でも出席していただく事が了承された。

（5）IT 企業の WS への参加について

ｉ）金沢電子出版は、今年度 e-learning 授業の実施において、運営の責任者として活動していただいた。今回の WS では教材の内容を見直すと同時に、運営の見直しもしたいので、内金崎様、歳桃様、乾事務員と相談の上、運営改善策の提案をしていただきたい。

ii)　ピコラボ社は従来から本学補綴科と連携して、VP の開発を行ってきた。そこで今回本事業で VP の導入に取り組むが、すみやかな導入を図るために、口腔乾燥症の WG と補綴科と連携して、口腔乾燥症教材としての VP のひな形の作成をしていただきたい。また今後の VP 教材作成および授業実施の支援態勢の構築をお願いしたい。

以上

平成25年度　D前期　アンケート調査結果

昭和大学歯学部教育委員会

アンケート名：チーム医療と口腔医学 I
実施日：平成25年09月10日　　回答率：99人／106人（93.4%）

質問内容	a	b	c	d	e	平均
1.今回の授業内容について理解しやすかった。	とてもそう思う 8 （9.3%）	そう思う 55 （64.0%）	そう思わない 20 （23.3%）	まったくそう思わない 1 （1.2%）	 2 （2.3%）	3.8
2.今回の授業内容に興味や関心を持った。	とてもそう思う 7 （8.1%）	そう思う 54 （62.8%）	そう思わない 19 （22.1%）	まったくそう思わない 5 （5.8%）	 1 （1.2%）	3.7
3.今回の授業内容は自分のレベルに合っていた。	とてもそう思う 8 （9.2%）	そう思う 59 （67.8%）	そう思わない 16 （18.4%）	まったくそう思わない 3 （3.4%）	 1 （1.1%）	3.8
4.今回の授業のe-learningの設問は解答しやすかった。	とてもそう思う 4 （4.7%）	そう思う 36 （41.9%）	そう思わない 38 （44.2%）	まったくそう思わない 7 （8.1%）	 1 （1.2%）	3.4
5.今回の授業の解答時間は十分であった。	とてもそう思う 6 （6.9%）	そう思う 60 （69.0%）	そう思わない 17 （19.5%）	まったくそう思わない 4 （4.6%）	 0 （0.0%）	3.8
6.今回の授業でPC操作は容易であった。	とてもそう思う 8 （9.3%）	そう思う 56 （65.1%）	そう思わない 17 （19.8%）	まったくそう思わない 5 （5.8%）	 0 （0.0%）	3.8
7.今回の授業でe-learningの操作は容易であった。	とてもそう思う 5 （5.8%）	そう思う 55 （64.0%）	そう思わない 21 （24.4%）	まったくそう思わない 5 （5.8%）	 0 （0.0%）	3.7
8.今回の授業でe-learningとリソース講義の組み合わせは良かった。	とてもそう思う 5 （5.8%）	そう思う 44 （51.2%）	そう思わない 30 （34.9%）	まったくそう思わない 6 （7.0%）	 1 （1.2%）	3.5

9.今回の授業で良かったことを書いてください。
わかりやすい。面白い授業
弘中先生の講義がすばらしかった。
私たちの負担は少なかった。
ビデオが面白かったです。
特になし。（2件）
理解しやすかった。

10.今回の授業で改善して欲しいことを書いてください。また、その他気づいたことを書いてください。
復習問題がまったく同じ問題だとやる気をなくす。
パソコンのトラブルなどがあるので、普通に授業をすればいいと思う。パソコンでやる必要がわからない。
復習問題がまったく同じでめんどくさい。
授業前に映される画像を出来るだけ見たい。（前を見て授業を受けたい）が、文字が小さい。パソコンで同じ画像を見られるか。
ビデオの感想などの復習は必要ないと思う。
LANがつながりづらい。
私たちは何かの実験台でしょうか。だるすぎる。
PCを使うと何かと面倒。
復習のビデオの感想を書く問題はいらないと思います。
同じ設問が何回もあって、必要性を感じない部分がありました。
復習が多い。
復習問題は必要なかった。
問題が多い。
くり返し同じことをしすぎ。（2件）

平成25年度　D後期　アンケート調査結果

昭和大学歯学部教育委員会

アンケート名：チーム医療と口腔科学Ⅰ
実施日：平成25年09月17日　　回答率：89人／106人（84%）

質問内容	a	b	c	d	e	平均
1.今回の授業内容について理解しやすかった。	とてもそう思う 5 （6.3%）	そう思う 61 （77.2%）	そう思わない 10 （12.7%）	まったくそう思わない 3 （3.8%）	 0 （0.0%）	3.9
2.今回の授業内容に興味や関心を持った。	とてもそう思う 4 （5.0%）	そう思う 61 （76.3%）	そう思わない 13 （16.3%）	まったくそう思わない 2 （2.5%）	 0 （0.0%）	3.8
3.今回の授業内容は自分のレベルに合っていた。	とてもそう思う 5 （6.3%）	そう思う 62 （77.5%）	そう思わない 10 （12.5%）	まったくそう思わない 3 （3.8%）	 0 （0.0%）	3.9
4.今回の授業のe-learningの設問は解答しやすかった。	とてもそう思う 5 （6.2%）	そう思う 48 （59.3%）	そう思わない 24 （29.6%）	まったくそう思わない 4 （4.9%）	 0 （0.0%）	3.7
5.今回の授業の解答時間は十分であった。	とてもそう思う 6 （7.4%）	そう思う 61 （75.3%）	そう思わない 12 （14.8%）	まったくそう思わない 2 （2.5%）	 0 （0.0%）	3.9
6.今回の授業でPC操作は容易であった。	とてもそう思う 5 （6.3%）	そう思う 60 （75.0%）	そう思わない 13 （16.3%）	まったくそう思わない 2 （2.5%）	 0 （0.0%）	3.9
7.今回の授業でe-learningの操作は容易であった。	とてもそう思う 5 （6.3%）	そう思う 61 （76.3%）	そう思わない 12 （15.0%）	まったくそう思わない 2 （2.5%）	 0 （0.0%）	3.9
8.今回の授業でe-learningとリソース講義の組み合わせは良かった。	とてもそう思う 7 （8.6%）	そう思う 60 （74.1%）	そう思わない 11 （13.6%）	まったくそう思わない 3 （3.7%）	 0 （0.0%）	3.9

9.今回の授業で良かったことを書いてください。
授業と問題が交互にあり、分かりやすかったです。
スライドや動画がわかりやすかった。
ノルマが終わったら早く終わること。

10.今回の授業で改善して欲しいことを書いてください。また、その他気づいたことを書いてください。
意図がわかりにくい設問があった。
テストあるのにメモできないので、パソコン授業は不要である。
ないです！！

平成25年度　D後期　アンケート調査結果

昭和大学歯学部教育委員会

アンケート名：チーム医療と口腔科学 I
実施日：平成25年09月24日　　回答率：94人／106人（88.7%）

質問内容	a	b	c	d	e	平均
1.今回の授業内容について理解しやすかった。	とてもそう思う 5 （5.4%）	そう思う 62 （66.7%）	そう思わない 21 （22.6%）	まったくそう思わない 5 （5.4%）	 0 （0.0%）	3.7
2.今回の授業内容に興味や関心を持った。	とてもそう思う 4 （4.3%）	そう思う 64 （68.8%）	そう思わない 18 （19.4%）	まったくそう思わない 7 （7.5%）	 0 （0.0%）	3.7
3.今回の授業内容は自分のレベルに合っていた。	とてもそう思う 4 （4.3%）	そう思う 61 （65.6%）	そう思わない 26 （28.0%）	まったくそう思わない 2 （2.2%）	 0 （0.0%）	3.7
4.今回の授業のe-learningの設問は解答しやすかった。	とてもそう思う 5 （5.4%）	そう思う 55 （59.1%）	そう思わない 22 （23.7%）	まったくそう思わない 11 （11.8%）	 0 （0.0%）	3.6
5.今回の授業の解答時間は十分であった。	とてもそう思う 6 （6.5%）	そう思う 63 （67.7%）	そう思わない 21 （22.6%）	まったくそう思わない 3 （3.2%）	 0 （0.0%）	3.8
6.今回の授業でPC操作は容易であった。	とてもそう思う 7 （7.5%）	そう思う 60 （64.5%）	そう思わない 21 （22.6%）	まったくそう思わない 5 （5.4%）	 0 （0.0%）	3.7
7.今回の授業でe-learningの操作は容易であった。	とてもそう思う 7 （7.4%）	そう思う 61 （64.9%）	そう思わない 23 （24.5%）	まったくそう思わない 3 （3.2%）	 0 （0.0%）	3.8
8.今回の授業でe-learningとリソース講義の組み合わせは良かった。	とてもそう思う 5 （5.4%）	そう思う 63 （68.5%）	そう思わない 18 （19.6%）	まったくそう思わない 6 （6.5%）	 0 （0.0%）	3.7

9.今回の授業で良かったことを書いてください。
特になし（3件）
今まで授業で習ったことの復習が出来てよかったです。
図や写真が用いられていたので、講義とは違う学びが出来た。
唾液腺について復習出来たので良かった。
パソコンを使い、個人が良く考えることが出来た。

10.今回の授業で改善して欲しいことを書いてください。また、その他気づいたことを書いてください。
最後に解いた問題の解説をして欲しかったです。
暇。ムダ。時間の浪費。講義がよい。先生達の人件費かけすぎている割に教育効果がうすい。
問題数が多い。
スライド配って欲しいと思います。
質問がわかりづらいところがあったと思います。
設問が回答しづらかったものがあった。
せかされること。
解答時間が短いと思った。解答した後すぐ正答が知れたらよりよくなると思う。
特になし。

平成25年度　D後期　アンケート調査結果

昭和大学歯学部教育委員会

アンケート名：チーム医療と口腔科学Ⅰ
実施日：平成25年10月01日　　回答率：89人／106人（84%）

質問内容	a	b	c	d	e	平均
1.今回の授業内容について理解しやすかった。	とてもそう思う 1 （1.2%）	そう思う 63 （73.3%）	そう思わない 19 （22.1%）	まったくそう思わない 3 （3.5%）	 0 （0.0%）	3.7
2.今回の授業内容に興味や関心を持った。	とてもそう思う 3 （3.5%）	そう思う 59 （68.6%）	そう思わない 19 （22.1%）	まったくそう思わない 5 （5.8%）	 0 （0.0%）	3.7
3.今回の授業内容は自分のレベルに合っていた。	とてもそう思う 3 （3.5%）	そう思う 66 （76.7%）	そう思わない 15 （17.4%）	まったくそう思わない 2 （2.3%）	 0 （0.0%）	3.8
4.今回の授業のe-learningの設問は解答しやすかった。	とてもそう思う 1 （1.2%）	そう思う 46 （53.5%）	そう思わない 31 （36.0%）	まったくそう思わない 8 （9.3%）	 0 （0.0%）	3.5
5.今回の授業の解答時間は十分であった。	とてもそう思う 5 （5.9%）	そう思う 60 （70.6%）	そう思わない 14 （16.5%）	まったくそう思わない 6 （7.1%）	 0 （0.0%）	3.8
6.今回の授業でPC操作は容易であった。	とてもそう思う 5 （5.8%）	そう思う 59 （68.6%）	そう思わない 16 （18.6%）	まったくそう思わない 6 （7.0%）	 0 （0.0%）	3.7
7.今回の授業でe-learningの操作は容易であった。	とてもそう思う 5 （5.8%）	そう思う 63 （73.3%）	そう思わない 12 （14.0%）	まったくそう思わない 6 （7.0%）	 0 （0.0%）	3.8
8.今回の授業でe-learningとリソース講義の組み合わせは良かった。	とてもそう思う 2 （2.3%）	そう思う 58 （67.4%）	そう思わない 20 （23.3%）	まったくそう思わない 6 （7.0%）	 0 （0.0%）	3.7

9.今回の授業で良かったことを書いてください。
口腔乾燥症について詳しく知ることができてよかった。
特になし。（2件）

10.今回の授業で改善して欲しいことを書いてください。また、その他気づいたことを書いてください。
e-learningが多すぎる。もっと簡潔にしてほしい。
特にないが、授業の必要性を感じなかった。
たくさん改善を求む。
合っていても、カタカナ、ひらがな、漢字で正誤がかわるのを直してほしい。
復習しづらいと思った。

平成25年度　D後期　アンケート調査結果

昭和大学歯学部教育委員会

アンケート名：チーム医療と口腔医学Ⅰ（実習）
実施日：平成25年10月01日　　回答率：103人／106人（97.2%）

質問内容	a	b	c	d	e	平均
1.実習した内容がD5・D6で行う臨床実習に関連していることがわかった。	とてもそう思う	そう思う	そう思わない	まったくそう思わない		3.7
	9（9.3%）	57（58.8%）	26（26.8%）	5（5.2%）	0（0.0%）	
2.口腔水分計、ガムテスト、サクソンテストによる口腔乾燥・唾液分泌量の計測法は理解できた。	とてもそう思う	そう思う	そう思わない	まったくそう思わない		4
	15（15.5%）	69（71.1%）	10（10.3%）	3（3.1%）	0（0.0%）	
3.口腔乾燥・唾液分泌量の計測と超高齢社会、口腔乾燥症の授業との関連がわかった。	とてもそう思う	そう思う	そう思わない	まったくそう思わない		3.9
	14（14.4%）	63（64.9%）	16（16.5%）	4（4.1%）	0（0.0%）	
4.臨床実習で口腔水分計やガムテスト、サクソンテストにより、口腔乾燥を評価できると思う。	とてもそう思う	そう思う	そう思わない	まったくそう思わない		4
	15（15.6%）	67（69.8%）	12（12.5%）	2（2.1%）	0（0.0%）	
5.学部連携病棟実習において評価した口腔乾燥度を他学部の学生に説明できると思う。	とてもそう思う	そう思う	そう思わない	まったくそう思わない		3.9
	10（10.4%）	69（71.9%）	14（14.6%）	3（3.1%）	0（0.0%）	
6.細菌カウンターを用いた口腔内細菌数の計測法は理解できた。	とてもそう思う	そう思う	そう思わない	まったくそう思わない		3.9
	11（11.3%）	71（73.2%）	13（13.4%）	2（2.1%）	0（0.0%）	
7.細菌数の計測と超高齢社会、口腔乾燥症や口腔ケアの授業との関連性は理解できた。	とてもそう思う	そう思う	そう思わない	まったくそう思わない		3.9
	8（8.2%）	72（74.2%）	15（15.5%）	2（2.1%）	0（0.0%）	
8.臨床実習で細菌カウンターにより、口腔細菌数を計測できると思う。	とてもそう思う	そう思う	そう思わない	まったくそう思わない		3.9
	12（12.4%）	69（71.1%）	14（14.4%）	2（2.1%）	0（0.0%）	
9.学部連携病棟実習において計測した口腔細菌数を他学部の学生に説明できると思う。	とてもそう思う	そう思う	そう思わない	まったくそう思わない		3.9
	8（8.3%）	71（74.0%）	14（14.6%）	3（3.1%）	0（0.0%）	
10.反復水飲みテストによる嚥下機能の評価法は理解できた。	とてもそう思う	そう思う	そう思わない	まったくそう思わない		3.9
	11（11.3%）	66（68.0%）	16（16.5%）	4（4.1%）	0（0.0%）	
11.嚥下機能の評価と口腔乾燥症、口腔ケア、超高齢社会などの授業との関連がわかった。	とてもそう思う	そう思う	そう思わない	まったくそう思わない		3.9
	10（10.3%）	68（70.1%）	15（15.5%）	4（4.1%）	0（0.0%）	
12.臨床実習で反復水飲みテストにより、嚥下機能を評価できると思う。	とてもそう思う	そう思う	そう思わない	まったくそう思わない		3.9
	9（9.3%）	71（73.2%）	14（14.4%）	3（3.1%）	0（0.0%）	
13.学部連携病棟実習において評価した嚥下機能を他学部の学生に説明できると思う。	とてもそう思う	そう思う	そう思わない	まったくそう思わない		3.8
	9（9.3%）	67（69.1%）	17（17.5%）	4（4.1%）	0（0.0%）	
14.オクルーザルフォースメータを用いた咬合力の計測法は理解できた。	とてもそう思う	そう思う	そう思わない	まったくそう思わない		3.9
	10（10.3%）	70（72.2%）	15（15.5%）	2（2.1%）	0（0.0%）	
15.咬合力の計測と超高齢社会、口腔乾燥症、口腔ケアの授業との関連がわかった。	とてもそう思う	そう思う	そう思わない	まったくそう思わない		3.9
	9（9.4%）	70（72.9%）	15（15.6%）	2（2.1%）	0（0.0%）	
16.臨床実習でオクルーザルフォースメータにより咬合力を計測できると思う。	とてもそう思う	そう思う	そう思わない	まったくそう思わない		3.9
	10（10.3%）	73（75.3%）	12（12.4%）	2（2.1%）	0（0.0%）	
17.学部連携病棟実習において評価した咬合力を他学部の学生に説明できると思う	とてもそう思う	そう思う	そう思わない	まったくそう思わない		3.9
	8（8.2%）	71（73.2%）	15（15.5%）	3（3.1%）	0（0.0%）	
18.実習中に行ったe-learningは知識を整理するのに役立った。	とてもそう思う	そう思う	そう思わない	まったくそう思わない		3.9
	9（9.4%）	71（74.0%）	12（12.5%）	4（4.2%）	0（0.0%）	

19.本日の実習について感じたことを書いてください。
昨年の実習（生理学）でも似たようなことを行ったのでやる意味がないと思う。午前もPC実習も時間のムダ！！
時間をムダに使い過ぎ。実習自体の内容は良いのにもったいない。教育推進室主導の意味が分からない。正直必要ない。
PC実習について、PCの問の答えが厳しすぎる。舌下ヒダはだめで、舌下ひだだけってのは、少し頭が堅すぎると思う。
OK！

別添資料2：e-learning教材の正答率

昭和大学 SHOWA UNIVERSITY

あなたは 昭和大学 乾 としてログインしています (ログアウト)

Home ▶ チーム医療 I ▶ 【授業1】超高齢社会と歯科医療（2013/9/10,1限） ▶ 1-1-1 問題 1 ▶ プレビュー

小テストナビゲーション

1

テスト終了 ...

新しいプレビューを開始する

ナビゲーション

Home

- マイホーム
- サイトページ
- マイプロファイル
- 現在のコース
  - チーム医療 I
    - 参加者
    - レポート
    - 一般
    - 【授業1】超高齢社会と歯科医療（2013/9/10,1限）
      - 1-0-1 事前学習課題
      - **1-1-1 問題 1**
        - インフォメーション
        - 受験結果
      - 1-2-1 医療費の三要素の比較
      - 1-2-2 入院・外来患者数の将来推計
      - 1-2-3 課題（医療提供体制の整備）
      - 1-2-4 超高齢社会の医療・歯科医療の連携
      - 1-3-1 問題 2
      - 1-4-1 歯科医療における「口腔のケア」
      - 1-4-2「口腔のケア」の目的
      - 1-4-3 口腔ケア（oral care）の歴史と変遷①
      - 1-4-4 口腔ケア（oral care）の歴史

問題 1

未解答

最大評点 4.00

問題にフラグ付けする

問題を編集する

2025年問題を例にして人口構成の変化が今後の我が国の歯科医療 サービスに及ぼす影響について箇条書きにして、各自の空欄の中に 打ち込みなさい。

キーワード

後期高齢者、在宅（歯科）医療、慢性疾患、多剤服薬

次へ

【正答例】

受診者に占める後期高齢者の割合の増加
在宅（歯科）医療の需要増加
慢性疾患を有する受診者の増加
多剤服用中の受診者の増加

別添資料2：e-learning教材の正答率

昭和大学 SHOWA UNIVERSITY

あなたは 昭和大学 乾 としてログインしています (ログアウト)

ナビゲーション

Home
- マイホーム
- サイトページ
- マイプロファイル
- 現在のコース
  - チーム医療 I
    - 参加者
    - レポート
    - 一般
    - 【授業1】超高齢社会と歯科医療（2013/9/10,1限）
      - 1-0-1 事前学習課題
      - 1-1-1 問題 1
        - インフォメーション
        - 受験結果
          - 評定
          - 解答
          - 統計
          - 手動評定
          - **穴埋めMATCHレポート**
          - 正規表現レポート
      - 1-2-1 医療費の三要素の比較
      - 1-2-2 入院・外来患者数の将来推計
      - 1-2-3 課題（医療提供体制の整備）
      - 1-2-4 超高齢社会の医療・歯科医療の連携
      - 1-3-1 問題 2
      - 1-4-1 歯科医療における「口腔のケア」
      - 1-4-2「口腔のケア」の目的

穴埋めMATCHレポート

問題1-1:year2025

正解率

解答一覧	評点	出現率
^(.*後期高齢者.*増加.*|.*在宅（歯科）医療.*増加.*|.*慢性疾患.*増加.*|.*多剤服薬.*増加.*)$	1.0000000	50%

出現頻度が高い解答TOP5

解答一致回数	解答率	出現頻度が高い解答TOP5	解答数
1	50%	後期高齢者の増加	11
		後期高齢者が増加する。	2
		後期高齢者患者の増加	2
		後期高齢者の割合の増加	1
		後期高齢者は増加していく。	1
0	50%	解答なし	4
		後期高齢者の割合が増える	2
		高齢者の多剤服薬による治療の制限	1
		在宅医療の機会が増える	1
		在宅歯科医療の需要の増加	1

問題1-2:year2025

正解率

解答一覧	評点	出現率
^(.*後期高齢者.*増加.*|.*在宅（歯科）医療.*増加.*|.*慢性疾患.*増加.*|.*多剤服薬.*増加.*)$	1.0000000	18.868%

出現頻度が高い解答TOP5

解答一致回数	解答率	出現頻度が高い解答TOP5	解答数
1	18.868%	在宅（歯科）医療の増加による歯科医の不足	1
		後期高齢者の増加	1
		後期高齢者のへの治療の割合の増加	1
		在宅（歯科）医療サービスの需要増加	1
		慢性疾患の増加による全身管理の重要性の増加	1

- 1-4-3 口腔ケア（oral care）の歴史と変遷①
- 1-4-4 口腔ケア（oral care）の歴史と変遷②-1
- 1-4-5 口腔ケア（oral care）の歴史と変遷②-2
- 1-5-1 復習テスト
- 完了
- 【授業2】超高齢社会とチーム医療1（2013/9/10,2限）
- 【授業2'】超高齢社会とチーム医療2（2013/9/10,2限）
- 【授業3】超高齢社会と歯科医療（2013/9/17, 1限）
- 【授業4】超高齢社会と歯科医療（2013/9/17, 2限）
- 【授業5】口腔乾燥症と疾患①（2013/9/24,1限）
- 【授業6】口腔乾燥症と疾患①'（2013/9/24,2限）
- 【授業7】口腔乾燥症と疾患②（2013/10/1,1限）
- 【授業8】口腔乾燥症と疾患②'（2013/10/1,2限）
- 実習A）唾液分泌量の計測
- 実習B）細菌数の測定
- 実習C）咬合力の測定
- マイコース
- 設定

設定

- 小テスト管理
  - 設定を編集する
  - グループオーバーライド
  - ユーザオーバーライド
  - 小テストを編集する
  - プレビュー
  - ローカルに割り当てるロール
  - パーミッション

解答一致回数	解答率	出現頻度が高い解答TOP5	解答数
0	81.132%	解答なし	4
		慢性疾患患者が増える	2
		在宅医療の不足	2
		在宅医療はこの先重要とされる。	1
		在宅医療の患者が増える	1

問題1-3:year2025

正解率

解答一覧	評点	出現率
^(.*後期高齢者.*増加.*|.*在宅（歯科）医療.*増加.*|.*慢性疾患.*増加.*|.*多剤服薬.*増加.*)$	1.0000000	42.453%

出現頻度が高い解答TOP5

解答一致回数	解答率	出現頻度が高い解答TOP5	解答数
1	42.453%	慢性疾患の増加	4
		慢性疾患患者の増加	4
		慢性疾患を持つ患者の増加	2
		慢性疾患患者による歯科医療サービス利用者の増加	1
		慢性疾患の患者が増加する	1
0	57.547%	解答なし	4
		慢性疾患の長期治療	2
		慢性疾患を持つ患者が増え、歯科医師も全身疾患の知識が必要	1
		薬剤の副作用をより理解しなければならない	1
		慢性疾患患者が増えるため歯科治療も難しくなる	1

問題1-4:year2025

正解率

解答一覧	評点	出現率
^(.*後期高齢者.*増加.*|.*在宅（歯科）医療.*増加.*|.*慢性疾患.*増加.*|.*多剤服薬.*増加.*)$	1.0000000	22.642%

出現頻度が高い解答TOP5

解答一致回数	解答率	出現頻度が高い解答TOP5	解答数
1	22.642%	多剤服薬患者の増加	3
		多剤服薬の増加	2
		高齢者は重複して罹患し、多剤服薬する状況が増え医療ミスが増加	1

- パーミッションをチェックする
- フィルタ
- ログ
- バックアップ
- リストア
- 問題バンク

コース管理

ロールを切り替える ...

マイプロファイル設定

解答一致回数	解答率	出現頻度が高い解答TOP5	解答数
		多剤服薬者の増加	1
		多剤服薬者の増加により求められる、正確な知識	1
0	77.358%	解答なし	4
		多剤服薬による副作用	2
		多剤服薬の副作用	2
		治療時に飲んでる薬との影響を考える	1
		チーム医療がより重要になる	1

1ページあたりの問題数　30

問題数変更

穴埋めMatch CSVダウンロード

このページのMoodle Docs

別添資料2：e-learning教材の正答率

昭和大学 SHOWA UNIVERSITY

あなたは 昭和大学 乾 としてログインしています (ログアウト)

Home ▶ チーム医療 I ▶【授業2】超高齢社会とチーム医療1（2013/9/10,2限） ▶ 2-1-2 問1-1 ▶ プレビュー

小テストナビゲーション

i 1

テスト終了 ...

新しいプレビューを開始する

ナビゲーション

Home

- マイホーム
- サイトページ
- マイプロファイル
- 現在のコース
  - チーム医療 I
    - 参加者
    - レポート
    - 一般
    - 【授業1】超高齢社会と歯科医療（2013/9/10,1限）
    - 【授業2】超高齢社会とチーム医療1（2013/9/10,2限）
      - 2-1-1 ビデオ視聴
      - **2-1-2 問1-1**
        - インフォメーション
        - 受験結果
      - 2-2-1 高齢者の精神的・心理的特徴
      - 2-2-2 一般的な高齢者の身体的特徴
      - 2-2-3 高齢者における様々な機能的低下
      - 2-3-1 復習テスト
      - 2-3-2 ビデオシナリオ
      - 完了

情報

問題にフラグ付けする

問題を編集する

【注意】授業中はビデオを見ないでください。

問題 1

未解答

最大評点 10.00

問題にフラグ付けする

問題を編集する

ビデオを見て、高齢者の身体的・心理的特徴について箇条書きで述べ なさい

次へ

【正答例】

下肢筋力低下
バランス機能の低下
認知機能の低下
視覚機能の低下
聴覚機能の低下
循環器系の低下
呼吸器系の低下
鬱傾向
残存歯数の減少
唾液分泌の低下

昭和大学 SHOWA UNIVERSITY

あなたは 昭和大学 乾 としてログインしています (ログアウト)

Home ▶ チーム医療 I ▶【授業2】超高齢社会とチーム医療1（2013/9/10,2限） ▶ 2-1-2 問1-1 ▶ 受験結果

ナビゲーション

Home
- マイホーム
- サイトページ
- マイプロファイル
- 現在のコース
  - チーム医療 I
    - 参加者
    - レポート
    - 一般
    - 【授業1】超高齢社会と歯科医療（2013/9/10,1限）
    - 【授業2】超高齢社会とチーム医療1（2013/9/10,2限）
      - 2-1-1 ビデオ視聴
      - 2-1-2 問1-1
        - インフォメーション
        - 受験結果
          - 評定
          - 解答
          - 統計
          - 手動評定
          - **穴埋めMATCHレポート**
          - 正規表現レポート
      - 2-2-1 高齢者の精神的・心理的特徴
      - 2-2-2 一般的な高齢者の身体的特徴
      - 2-2-3 高齢者における様々な機能的低下
      - 2-3-1 復習テス

穴埋めMATCHレポート

問1-1-1-1:20130606-1

正解率

解答一覧	評点	出現率
^(下肢筋力低下|バランス機能の低下|認知機能の低下|視覚機能の低下|聴覚機能の低下|循環器系の低下|呼吸器系の低下|鬱傾向|残存歯数の減少|唾液分泌の低下)$	1.0000000	0%

出現頻度が高い解答TOP5

解答一致回数	解答率	出現頻度が高い解答TOP5	解答数
0	100%	耳が遠い	12
		足が不自由	7
		足が悪い	7
		解答なし	6
		歩行困難	5

問1-1-1-2:20130606-1

正解率

解答一覧	評点	出現率
^(下肢筋力低下|バランス機能の低下|認知機能の低下|視覚機能の低下|聴覚機能の低下|循環器系の低下|呼吸器系の低下|鬱傾向|残存歯数の減少|唾液分泌の低下)$	1.0000000	0%

出現頻度が高い解答TOP5

解答一致回数	解答率	出現頻度が高い解答TOP5	解答数
0	100%	耳が遠い	9
		解答なし	6
		動作が遅い	4
		嚥下障害	3
		誤嚥しやすい	2

ト
2-3-2 ビデオシナリオ
完了
【授業2'】超高齢社会とチーム医療2（2013/9/10,2限）
【授業3】超高齢社会と歯科医療（2013/9/17, 1限）
【授業4】超高齢社会と歯科医療（2013/9/17, 2限）
【授業5】口腔乾燥症と疾患①（2013/9/24,1限）
【授業6】口腔乾燥症と疾患①'（2013/9/24,2限）
【授業7】口腔乾燥症と疾患②（2013/10/1,1限）
【授業8】口腔乾燥症と疾患②'（2013/10/1,2限）
実習A）唾液分泌量の計測
実習B）細菌数の測定
実習C）咬合力の測定
マイコース
設定

設定
小テスト管理
設定を編集する
グループオーバーライド
ユーザオーバーライド
小テストを編集する
プレビュー
ローカルに割り当てるロール
パーミッション
パーミッションをチェックする
フィルタ
ログ
バックアップ

問1-1-1-3:20130606-1

正解率

解答一覧	評点	出現率
^(下肢筋力低下|バランス機能の低下|認知機能の低下|視覚機能の低下|聴覚機能の低下|循環器系の低下|呼吸器系の低下|鬱傾向|残存歯数の減少|唾液分泌の低下)$	1.0000000	0%

出現頻度が高い解答TOP5

解答一致回数	解答率	出現頻度が高い解答TOP5	解答数
0	100%	耳が遠い	7
		解答なし	6
		動作が遅い	4
		緊張している	3
		記憶力が低下している	2

問1-1-1-4:20130606-1

正解率

解答一覧	評点	出現率
^(下肢筋力低下|バランス機能の低下|認知機能の低下|視覚機能の低下|聴覚機能の低下|循環器系の低下|呼吸器系の低下|鬱傾向|残存歯数の減少|唾液分泌の低下)$	1.0000000	0%

出現頻度が高い解答TOP5

解答一致回数	解答率	出現頻度が高い解答TOP5	解答数
0	100%	解答なし	6
		耳が遠い	4
		嚥下障害	2
		行動が遅い	2
		動作が遅い	2

問1-1-1-5:20130606-1

正解率

解答一覧	評点	出現率
^(下肢筋力低下|バランス機能の低下|認知機能の低下|視覚機能の低下|聴覚機能の低下|循環器系の低下|呼吸器系の低下|鬱傾向|残存歯数の減少|唾液分泌の低下)$	1.0000000	0%

リストア
問題バンク
コース管理
ロールを切り替える ...
マイプロファイル設定

出現頻度が高い解答TOP5

解答一致回数	解答率	出現頻度が高い解答TOP5	解答数
0	100%	むせやすい	7
		解答なし	6
		動作が遅い	3
		行動が遅い	3
		耳が遠い	2

問1-1-1-6:20130606-1

正解率

解答一覧	評点	出現率
^(下肢筋力低下|バランス機能の低下|認知機能の低下|視覚機能の低下|聴覚機能の低下|循環器系の低下|呼吸器系の低下|鬱傾向|残存歯数の減少|唾液分泌の低下)$	1.0000000	0%

出現頻度が高い解答TOP5

解答一致回数	解答率	出現頻度が高い解答TOP5	解答数
0	100%	解答なし	15
		誤嚥	2
		不安	2
		終始不安そうな感じ。	1
		むせ易い	1

問1-1-1-7:20130606-1

正解率

解答一覧	評点	出現率
^(下肢筋力低下|バランス機能の低下|認知機能の低下|視覚機能の低下|聴覚機能の低下|循環器系の低下|呼吸器系の低下|鬱傾向|残存歯数の減少|唾液分泌の低下)$	1.0000000	0%

出現頻度が高い解答TOP5

解答一致回数	解答率	出現頻度が高い解答TOP5	解答数
0	100%	解答なし	25
		疲れやすい	3
		口腔乾燥	2
		耳が遠い	2

解答一致回数	解答率	出現頻度が高い解答TOP5	解答数
		入れ歯	2

問1-1-1-8:20130606-1

正解率

解答一覧	評点	出現率
^(下肢筋力低下|バランス機能の低下|認知機能の低下|視覚機能の低下|聴覚機能の低下|循環器系の低下|呼吸器系の低下|鬱傾向|残存歯数の減少|唾液分泌の低下)$	1.0000000	0%

出現頻度が高い解答TOP5

解答一致回数	解答率	出現頻度が高い解答TOP5	解答数
0	100%	解答なし	33
		疲れやすい	4
		むせやすい	2
		義歯	1
		口腔乾燥	1

問1-1-1-9:20130606-1

正解率

解答一覧	評点	出現率
^(下肢筋力低下|バランス機能の低下|認知機能の低下|視覚機能の低下|聴覚機能の低下|循環器系の低下|呼吸器系の低下|鬱傾向|残存歯数の減少|唾液分泌の低下)$	1.0000000	0%

出現頻度が高い解答TOP5

解答一致回数	解答率	出現頻度が高い解答TOP5	解答数
0	100%	解答なし	48
		むせやすい	2
		不安感がある	1
		足取りがゆっくりである	1
		義歯を装着している	1

問1-1-1-10:20130606-1

正解率

解答一覧	評点	出現率

解答一覧	評点	出現率
^(下肢筋力低下|バランス機能の低下|認知機能の低下|視覚機能の低下|聴覚機能の低下|循環器系の低下|呼吸器系の低下|鬱傾向|残存歯数の減少|唾液分泌の低下)$	1.0000000	0%

出現頻度が高い解答TOP5

解答一致回数	解答率	出現頻度が高い解答TOP5	解答数
0	100%	解答なし	56
		間違いが多い	1
		嚥下能力が低下している	1
		杖を使っている。	1
		緊張してしまう	1

1ページあたりの問題数 30

問題数変更

穴埋めMatch CSVダウンロード

このページのMoodle Docs

昭和大学 SHOWA UNIVERSITY

あなたは 昭和大学 乾 としてログインしています (ログアウト)

小テストナビゲーション

1

テスト終了 ...

新しいプレビューを開始する

ナビゲーション

Home

- マイホーム
- サイトページ
- マイプロファイル
- 現在のコース
  - チーム医療 I
    - 参加者
    - レポート
    - 一般
    - 【授業1】超高齢社会と歯科医療（2013/9/10,1限）
    - 【授業2】超高齢社会とチーム医療1（2013/9/10,2限）
    - 【授業2'】超高齢社会とチーム医療2（2013/9/10,2限）
    - 【授業3】超高齢社会と歯科医療（2013/9/17, 1限）
      - 3-1-1 病は突然訪れる
      - 3-2-1 問題 1
      - 3-3-1 解説
      - 3-3-2 救急応需体制
      - 3-3-3 急性期（救急）病院
      - 3-3-4 疾病対応の流れ（機能分化と連携）
      - 3-3-5 異なる視点とプロセス管理
      - 3-3-6 脳卒中患者に対する院内の歯科の担当領域（例）
      - 3-3-7 急性期病院

問題 1

未解答

最大評点 1.00

問題にフラグ付けする

問題を編集する

入院中の患者さんに口腔のケアが必要な理由を箇条書きにしなさい。(100文字以内)

次へ

【正答例】

感染予防
早期離床
廃用予防
誤嚥性肺炎の予防
嚥下障害の予防のため
経口摂取に向けた機能訓練のため
生活の自立の補助（歯ブラシ・スプーン等）

昭和大学 SHOWA UNIVERSITY

あなたは 昭和大学 乾 としてログインしています (ログアウト)

ナビゲーション

Home
- マイホーム
- サイトページ
- マイプロファイル
- 現在のコース
  - チーム医療 I
    - 参加者
    - レポート
    - 一般
    - 【授業1】超高齢社会と歯科医療（2013/9/10,1限）
    - 【授業2】超高齢社会とチーム医療1（2013/9/10,2限）
    - 【授業2'】超高齢社会とチーム医療2（2013/9/10,2限）
    - 【授業3】超高齢社会と歯科医療（2013/9/17, 1限）
      - 3-1-1 病は突然訪れる
      - 3-2-1 問題 1
      - 3-3-1 解説
      - 3-3-2 救急応需体制
      - 3-3-3 急性期（救急）病院
      - 3-3-4 疾病対応の流れ（機能分化と連携）
      - 3-3-5 異なる視点とプロセス管理
      - 3-3-6 脳卒中患者に対する院内の歯科の担当領域（例）
      - 3-3-7 急性期病院のチーム医療（例）
      - 3-3-8 対策と経過の要点
      - 3-4-1 問題 1
        - インフォメーショ

穴埋めMATCHレポート

3-3-1-1:20130912-03

正解率

解答一覧	評点	出現率
（正答設定なし）	1.0000000	0%

出現頻度が高い解答TOP5

解答一致回数	解答率	出現頻度が高い解答TOP5	解答数
0	100%	解答なし	4
		口腔ケアが必要な理由は以下の問題を引き起こしてしまうためである。・口腔状態が不衛生だと、様々な疾患を引き起こす。・誤嚥性肺炎になりやすくなる。・口からの栄養摂取が困難になる。・栄養不良になるとリハビリが難しくなり、予後がわるくなってしまう。・う蝕の予防にもなる。	1
		誤嚥予防、QOL向上、食欲の向上、感染予防など	1
		・歯周病になると他の病気になりやすくなるため、入院中の抵抗力が弱まっている患者には口腔ケアが重要。・糖尿病など生活習慣病を罹患していないかがわかる。・口腔ケアを行うことで、歯の健康が保たれ、例え病気の後遺症で体が不自由になったとしても、食の楽しみが失われずにすむ。	1
		普段と違う生活環境のため、口腔ケアをおろそかにしやすい。意識の喪失や骨折時など、本人が自身の口腔ケアを行えない場合がある。疾患が原因で患者さんの抵抗力が低下している場合、口腔衛生状態の低下が重大な合併症を引き起こす可能性がある。	1

1ページあたりの問題数　30

問題数変更

穴埋めMatch CSVダウンロード

1．今回実施したe-learning問題

別添資料3：改善策

昭和大学 SHOWA UNIVERSITY

あなたは 昭和大学 乾 としてログインしています (ログアウト)

Home ▶ チーム医療 I ▶ 【授業1】超高齢社会と歯科医療(2013/9/10,1限) ▶ 1-1-1 問題 1 ▶ プレビュー

小テストナビゲーション

1

テスト終了 ...

新しいプレビューを開始する

ナビゲーション

Home
- マイホーム
- サイトページ
- マイプロファイル
- 現在のコース
  - チーム医療 I
    - 参加者
    - レポート
    - 一般
    - 【授業1】超高齢社会と歯科医療(2013/9/10,1限)
      - 1-0-1 事前学習課題
      - **1-1-1 問題 1**
        - インフォメーション
        - 受験結果
      - 1-2-1 医療費の三要素の比較
      - 1-2-2 入院・外来患者数の将来推計
      - 1-2-3 課題(医療提供体制の整備)
      - 1-2-4 超高齢社会の医療・歯科医療の連携
      - 1-3-1 問題 2
      - 1-4-1 歯科医療における「口腔のケア」
      - 1-4-2「口腔のケア」の目的
      - 1-4-3 口腔ケア(oral care)の歴史と変遷①
      - 1-4-4 口腔ケア(oral care)の歴史

問題 1

未解答

最大評点 4.00

問題にフラグ付けする

問題を編集する

2025年問題を例にして人口構成の変化が今後の我が国の歯科医療 サービスに及ぼす影響について箇条書きにして、各自の空欄の中に 打ち込みなさい。

キーワード

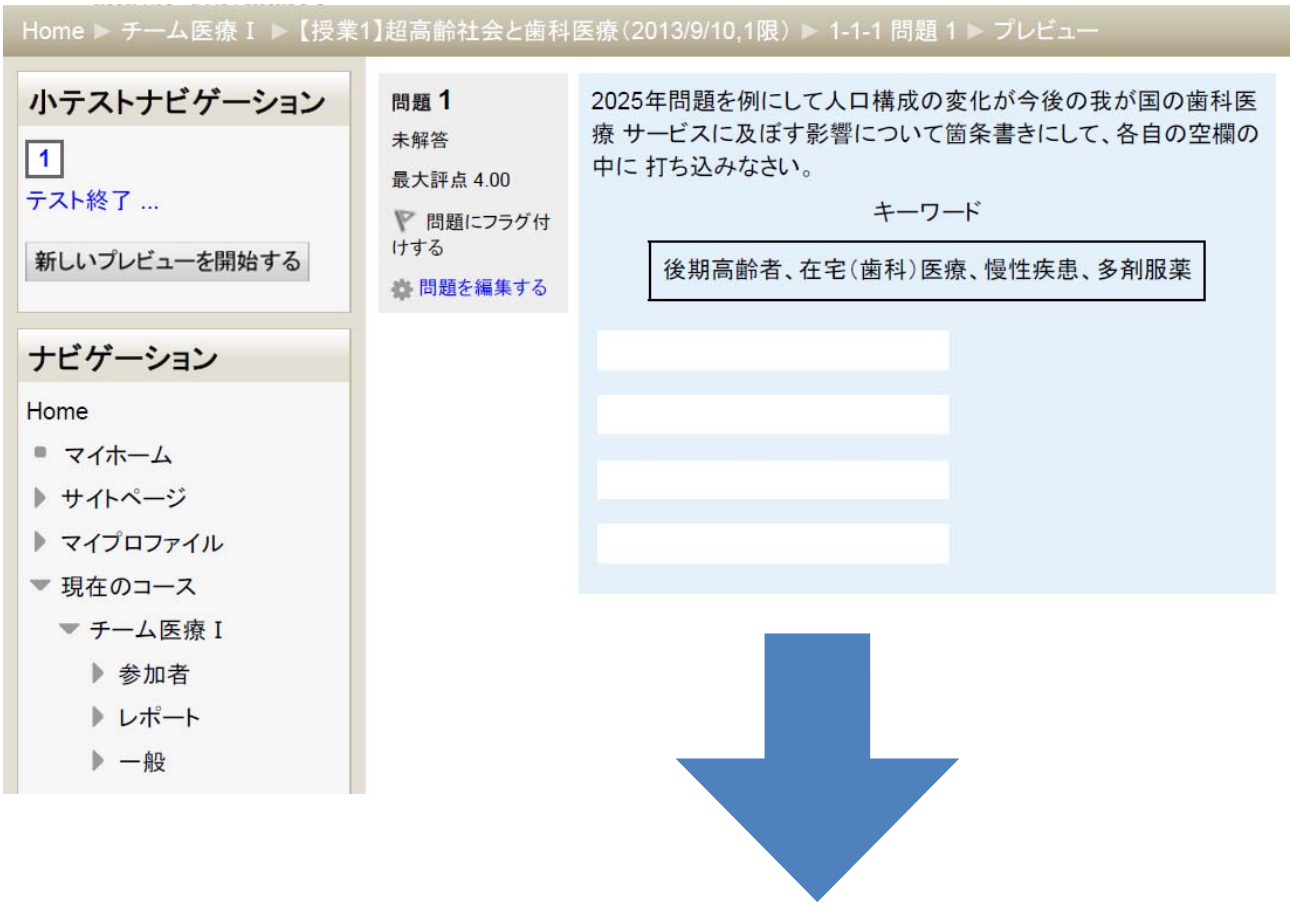
後期高齢者、在宅(歯科)医療、慢性疾患、多剤服薬

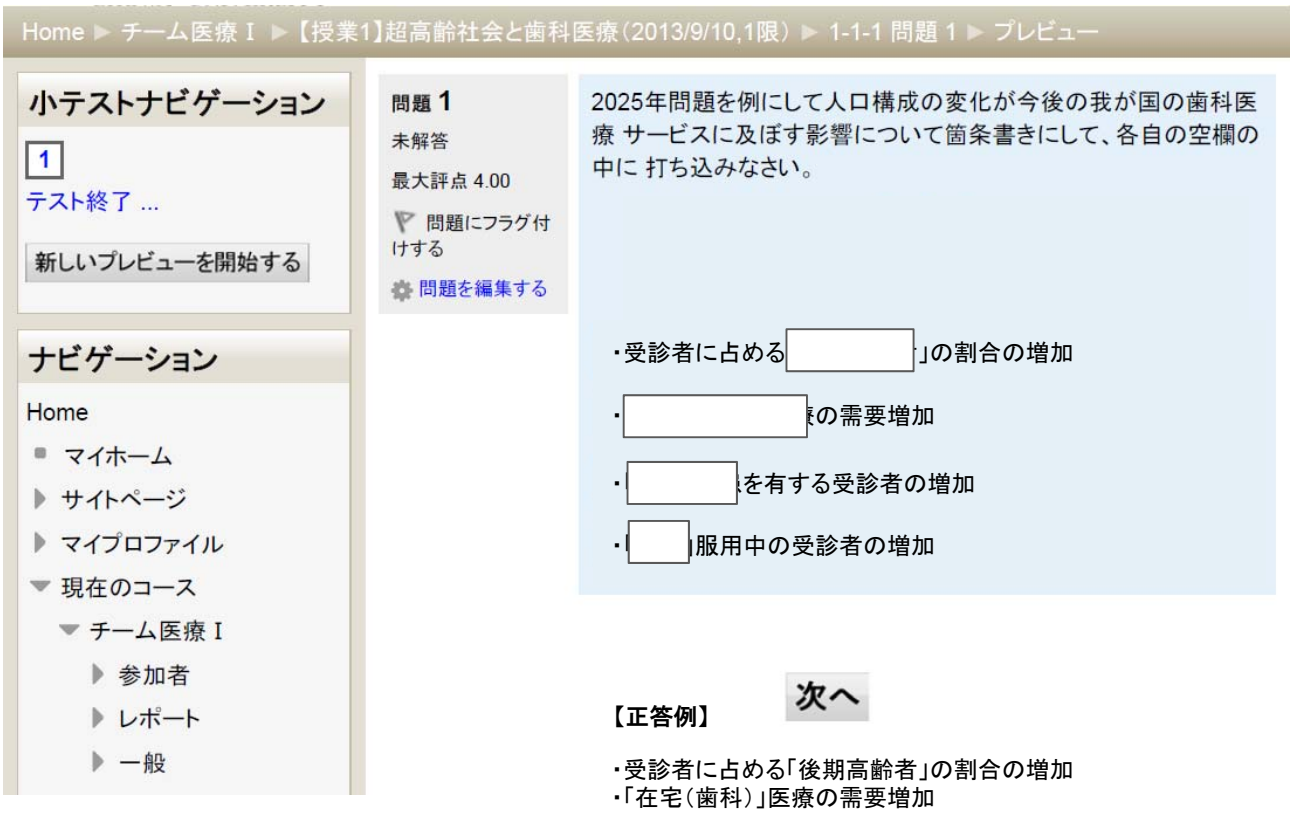
次へ

【正答例】

受診者に占める後期高齢者の割合の増加
在宅（歯科）医療の需要増加
慢性疾患を有する受診者の増加
多剤服用中の受診者の増加

3．改善案

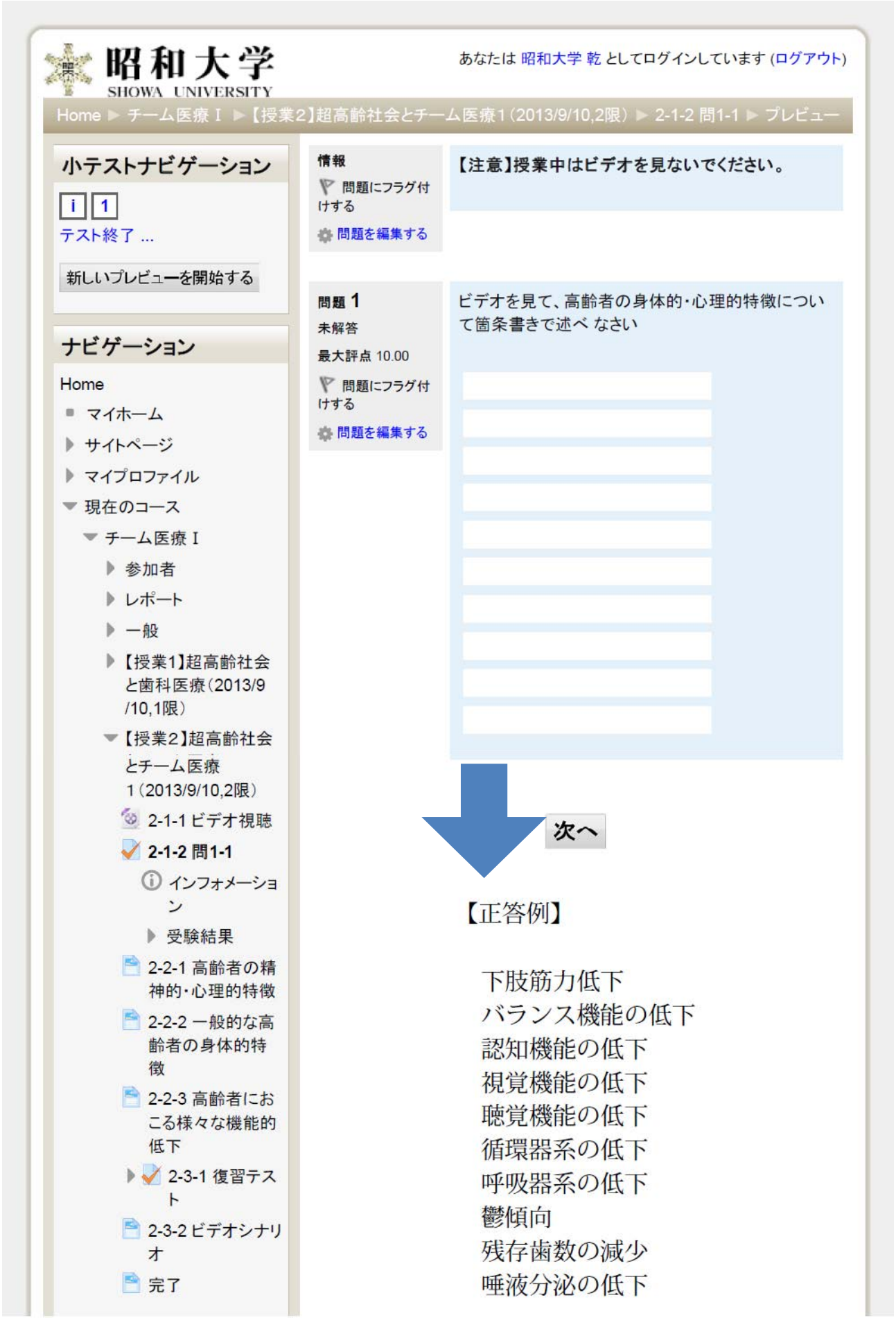




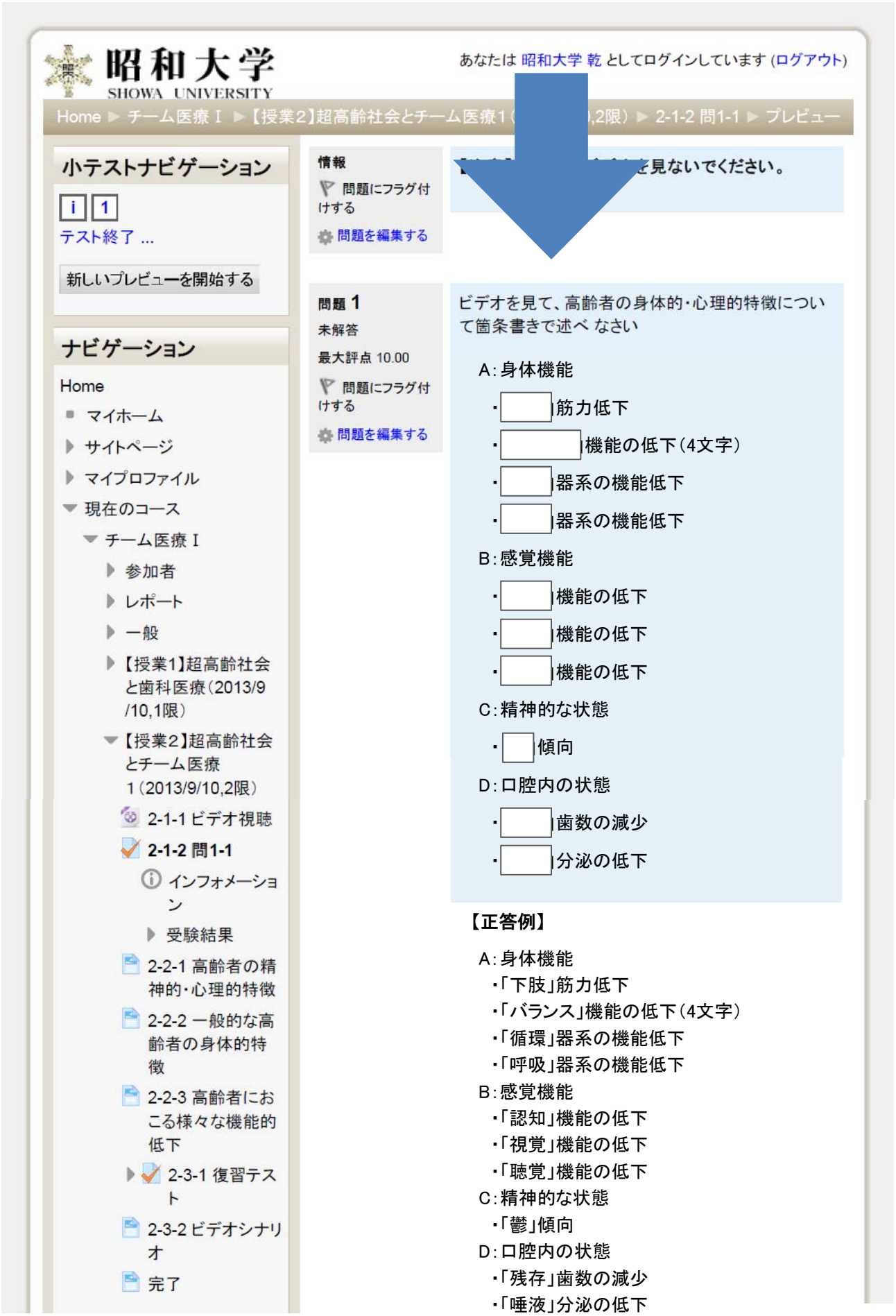
【正答例】

・受診者に占める「後期高齢者」の割合の増加
・「在宅（歯科）」医療の需要増加
・「慢性」疾患を有する受診者の増加
・「多剤」服用中の受診者の増加

1．今回実施したe-learning問題

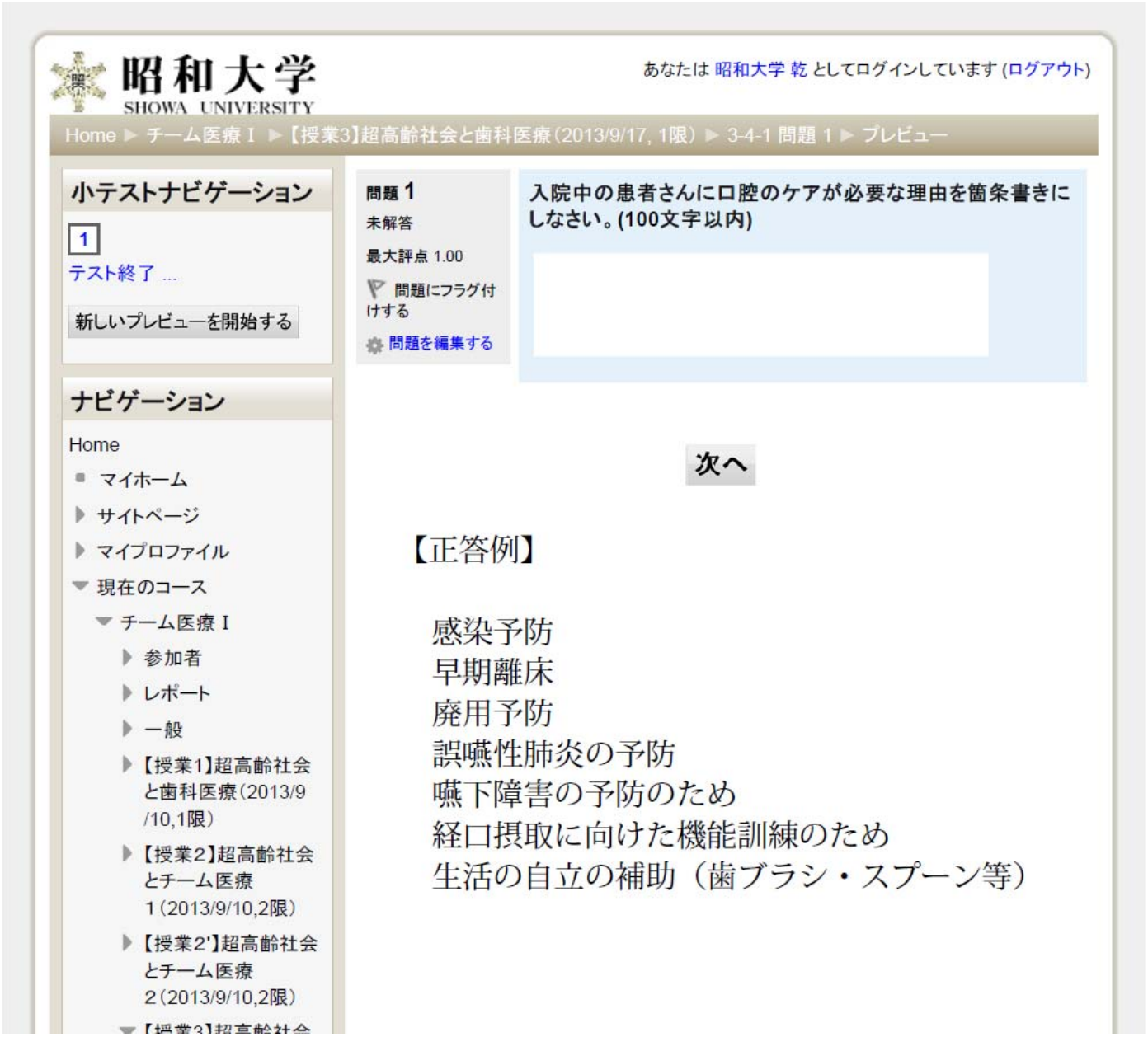


3．改善案

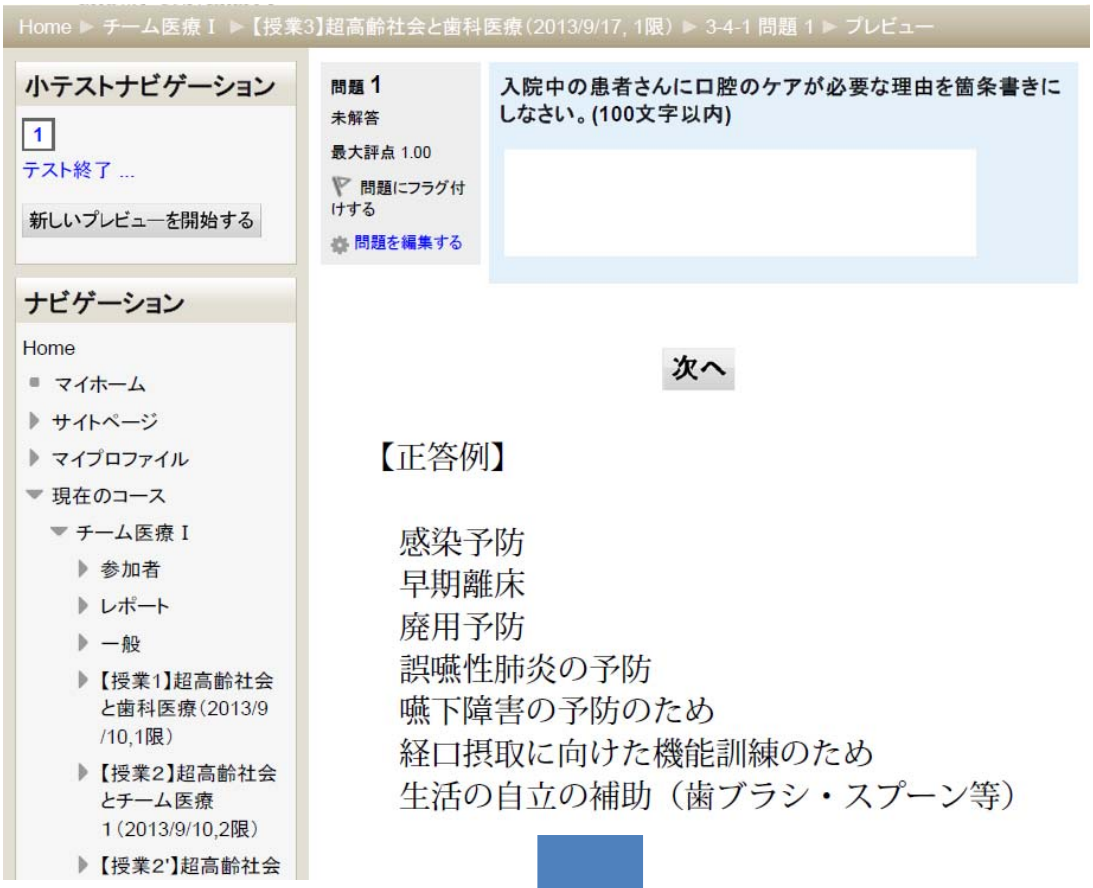

昭和大学
SHOWA UNIVERSITY
あなたは 昭和大学 乾 としてログインしています (ログアウト)
Home ▶ チーム医療 I ▶ 【授業2】超高齢社会とチーム医療1( ),2限) ▶ 2-1-2 問1-1 ▶ プレビュー
小テストナビゲーション
i 1
テスト終了 ...
新しいプレビューを開始する
ナビゲーション
Home
マイホーム
サイトページ
マイプロファイル
現在のコース
チーム医療 I
参加者
レポート
一般
【授業1】超高齢社会と歯科医療(2013/9/10,1限)
【授業2】超高齢社会とチーム医療1(2013/9/10,2限)
2-1-1 ビデオ視聴
2-1-2 問1-1
インフォメーション
受験結果
2-2-1 高齢者の精神的・心理的特徴
2-2-2 一般的な高齢者の身体的特徴
2-2-3 高齢者におこる様々な機能的低下
2-3-1 復習テスト
2-3-2 ビデオシナリオ
完了
情報
問題にフラグ付けする
問題を編集する
を見ないでください。
問題 1
未解答
最大評点 10.00
問題にフラグ付けする
問題を編集する
ビデオを見て、高齢者の身体的・心理的特徴について箇条書きで述べ なさい
A：身体機能
・ 筋力低下
・ 機能の低下(4文字)
・ 器系の機能低下
・ 器系の機能低下
B：感覚機能
・ 機能の低下
・ 機能の低下
・ 機能の低下
C：精神的な状態
・ 傾向
D：口腔内の状態
・ 歯数の減少
・ 分泌の低下
【正答例】
A：身体機能
・「下肢」筋力低下
・「バランス」機能の低下(4文字)
・「循環」器系の機能低下
・「呼吸」器系の機能低下
B：感覚機能
・「認知」機能の低下
・「視覚」機能の低下
・「聴覚」機能の低下
C：精神的な状態
・「鬱」傾向
D：口腔内の状態
・「残存」歯数の減少
・「唾液」分泌の低下

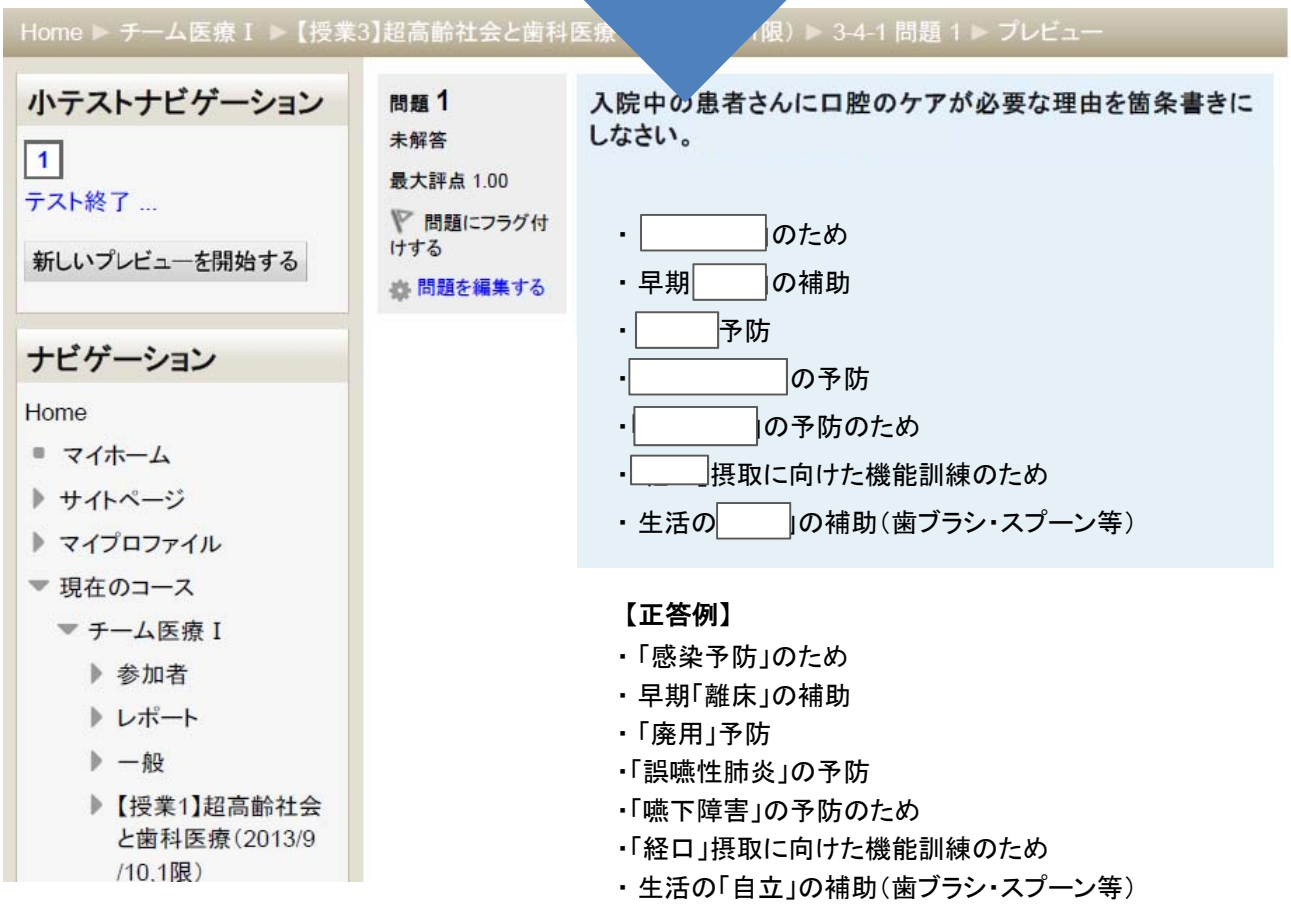
1．今回実施したe-learning問題

別添資料3:改善策



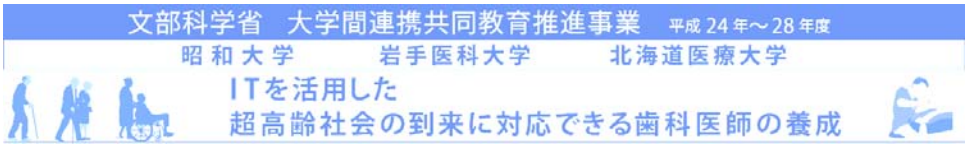
3．改善案





【正答例】

・「感染予防」のため
・ 早期「離床」の補助
・「廃用」予防
・「誤嚥性肺炎」の予防
・「嚥下障害」の予防のため
・「経口」摂取に向けた機能訓練のため
・ 生活の「自立」の補助（歯ブラシ・スプーン等）



文部科学省　大学間連携共同教育推進事業
第3回ITを活用した教育センターワークショップ　スケジュール

開催日：11月21日（木）
場　所：昭和大学　旗の台校舎　1号館6階会議室

時間	テーマ	実施方法	担当	場所
10：45～11:00	集合・受付			1号館7階講堂
11:00～11:20	開会式（学部長　挨拶，自己紹介）WSの概要とスケジュール	全体会	片岡	
11:20～	**講演** **"How to teach about the management of dry mouth and burning mouth syndrome to dental students?"** **「口腔乾燥症や舌痛症の診断治療を学生にどのように教育するか？」**	Prof. Roseann Mulligan（南カリフォルニア大学　歯学部　教授）	片岡	
12:20～13:00	昼食　・　ディスカッション			1号館6階会議室
13:00～13:30	3連携大学3年生に対するIT教育の実施とその成果	全体会 城・越野・片岡	片岡	
13:30～14:20	3連携大学3年生に対するIT教育の改善策を考える	グループ討議		
14:20～14:50		全体会 発表4分、討議3分	城	
15:00～17:00	3連携大学4年生に対するITを活用した教育を考える ・グループ1：口腔乾燥症 ・グループ2：基礎疾患を有する患者の歯科診療 ・グループ3：病院におけるチーム医療 ・グループ4：地域におけるチーム医療	全体会　グループ討議	馬場・菅沼 片岡	
17:00～17:50	3連携大学4年生に対するITを活用した教育を考える	全体会 発表5分、討議4分	越野	
17:50～18:00	閉会式、写真撮影、アンケート	全体会	片岡	
18:10～19:30	**懇親会** （昭和大学病院入院棟17階タワーレストラン昭和）	全体会		

開催日：11月20日（水）
場　所：昭和大学　旗の台校舎　1号館7階講堂

17:00～18:00　Prof. Glenn Clark（南カリフォルニア大学）講演
"How well does a Virtual Patient work to improve a student's clinical reasoning skills?"
「VP（バーチャルペーシェント）は学生の臨床推論能力をどのように向上させるのか？」

18:00～　懇親会

教育プログラム検討委員会・到達度評価委員会名簿

別添資料5

委員会		氏名	所属1	所属2
教育プログラム検討委員会	1	越野　寿	北海道医療大学	口腔機能修復・再建学系　咬合再建補綴学分野
	2	城　茂治	岩手医科大学	口腔顎顔面再建学講座　歯科麻酔学分野
	3	片岡　竜太	昭和大学	スペシャルニーズ口腔医学講座　歯学教育学部門
	4	河野　崇志	北海道歯科医師会	
	5	三善　潤	岩手県歯科医師会	
	6	村上　光広	東京都目黒区歯科医師会	
	7	西村　丈裕	北海道医療大学	学務部教務課
	8	近藤　敬	岩手医科大学	歯学部教務課
	9	内金崎　智	岩手医科大学	歯学部教務課
	10	大矢　敦	昭和大学	財務部研究助成課
	11	山村　勇一	昭和大学	学事部学務課
到達度評価委員会	1	坂倉　康則	北海道医療大学	
	2	木村　重信	岩手医科大学	
	3	井上　美津子	昭和大学	小児成育歯科学
	4	大森　幹朗	社団法人札幌歯科医師会	
	5	橋場 友幹	盛岡市歯科医師会	
	6	下山　忠明	東京都大田区大森歯科医師会	
	7	西村　丈裕	北海道医療大学	学務部教務課
	8	山本　和博	岩手医科大学	歯学部教務課
	9	久米　徳明	昭和大学	歯学部教務課